

日本理解分野（人文・社会科学科目群）

日本理解分野は、留学生を対象としたもので、日本に対する関心を広げ、理解を深めることを目的としている。**Culture and Traditions in Japan I**、**Culture and Traditions in Japan II**、**Current Issues in Japan I**、**Current Issues in Japan II** の4科目が提供され、人文科学や社会科学の視点から、日本の文化、社会の特徴について概観できるよう構成されている。また、多様な文化的背景を持つ受講生が想定されることから、日本、自国、他国の文化や社会状況の比較を通して、それぞれについての理解を深めることも目指す。講義は英語で行われ、**KUINEP** 学生の推奨科目となっている。

留学生を対象とした科目であるが、一部科目では、留学生以外であっても、日本の文化、社会について留学生と共に学ぶ意欲のある本学学生の聴講（単位付与は行われない）を認めている。詳しくは各科目のシラバスを確認すること。

Culture and Traditions in Japan I（前期）では、一期一会、以心伝心などのキーワードを手がかりに、言葉を通して日本文化の特徴を探っていく。**Culture and Traditions in Japan II**（後期）では、年中行事、信仰、婚姻、教育など様々な側面を取り上げ、文化や伝統の特徴、その歴史の変遷を考察する。**Current Issues in Japan I**、**II** は共に社会科学的視点から、**Current Issues in Japan I**（前期）は家庭、学校、スポーツ、日常生活、**Current Issues in Japan II**（前期・後期）は経営、経済、産業などの題材を選定し、日本社会の特徴について学ぶ。以上の4科目は、日本に関する知識が十分でない人でも理解できるよう配慮されている。また、複数の科目を受講することで、より幅広い内容を網羅し、効果的な学習が期待できるようになっている。